



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第19回例会(11月15日)
平成25年11月22日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 平井 滋
幹 事 平野 佳則
会 報 金子 真也
クラブ直通電話 TEL(653)5682

Engage Rotary, Change Lives. "ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を"…… Ron D, Burton



ゲスト卓話

「櫻山参道地区の歴史」

盛岡市都市整備部 公園みどり課 文化財主査

三浦 陽一 様

本日は、櫻山参道地区の歴史と題し、盛岡城跡公園（岩手公園）の鶴ヶ池・亀ヶ池に囲まれた商業地区が形成された歴史等について、藩政時代の絵図や市所蔵の資料等をもとにしてお話させていただきます。

櫻山参道地区は、藩政時代において盛岡藩南部家の居城「盛岡城」の中枢である内曲輪の北側にある下曲輪に位置しておりました。下曲輪は、現在鶴ヶ池・亀ヶ池として親しまれている内堀と土塁に囲まれ、内部の北側中央には大手に相当する綱御門が、東側には藩の財政や物産を所掌した勘定所、南側には待合室の機能をもった大腰掛が存在し、お城の入り口としての機能を持った地区でありました。

明治元年（1868）、戊辰戦争で盛岡藩が新政府軍に敗れたことにより、盛岡城内は明治政府の直轄地となりました。明治3年（1870）には二ノ丸が県庁として使われましたが、翌年には仁王村広小路（現在の県庁敷地）に移転となり、城内は陸軍省の管轄となりました。

その後、明治6年（1873）の太政官布達により、城郭建物を残すことが認められましたが、建物の維持が困難であることを理由に、建物や樹木が払い下げられることとなり、明治7年（1874）には、城内にあったほとんどの建物や樹木が撤去されました。

明治32年（1899）には、櫻山神社が現在地に遷座してまいりました。櫻山神社は、藩政時代には城内の淡路丸に所在していましたが、明治維新とともに加賀野妙泉寺に、さらに明治10年（1877）には南部家菩提所のふもとに遷座、その後、3回目の遷座によって現在地に鎮座したのあります。

当時の櫻山参道地区は、サクラの木に囲まれ

ていて、亀ヶ池の北向かいにあった岩手郡役所から移設した鐘楼のほか神社の神楽殿などがあり、境内地らしい趣のある地区となっていました。

明治39年（1906）には南部家より無償で土地を借り受ける形で岩手県が城跡を整備、9月に岩手公園として開園しました。昭和9年（1934）には、盛岡市が南部家から土地を買収するとともに、公園の管理を岩手県から引継ぎました。また、昭和12年（1937）には、盛岡城跡が国の史跡指定を受け、現在に至っています。

終戦直後の昭和21年（1946）、戦災者や海外引揚者が生活の場を求め、櫻山神社境内地や公園用地、個人所有地を借地し、仮設店舗で営業を始めました。その後、商店等経営者は土地を取得したり、土地を借地して自身の建物を建築したりしながら、生活の基盤を構築していきました。

昭和29年（1954）都市計画街路「中ノ橋・大通り線」の開通に際し、亀ヶ池周辺の整備が急務となったため、市有地である亀ヶ池池畔に乱立していた店舗の整理を計画、櫻山神社前を通る中ノ橋・大通り線沿いの棧橋上と亀ヶ池池畔に新設する園地に沿う敷地と決め、暫定的措置として移転を進めました。

その際に建築された棧橋店舗については、昭和45年（1970）に撤去されましたが、現在も公園敷地内の市有地に残る物件については、盛岡市が管理しながら現在に至っています。

昭和34年（1959）には、終戦直後に建てられた店舗等が老朽化していることなどを理由に、亀ヶ池商店街市街地整備の史跡現状変更申請が文化財保護委員会（文化庁の前身）に提出

され、公園事業実施の際には協力すること等の条件付で許可がなされ、昭和38年(1963)頃には現在の姿になりました。

その他、東大通商店街の一部においては県有地と市有地に店舗兼住宅が建設されましたが、その後、一部の権利者が土地を県から払い下げられる形で再開発ビル建設を計画、Est21として平成14年に完成し現在に至っています。

櫻山参道地区はこのような変遷を経て現在に至っておりますが、史跡盛岡城跡の下曲輪の一部であり、昭和31年(1956)に都市計画決定された公園区域となっています。その一方で戦後に形成された商業地が、昭和の風情といったレトロさと新しさが共存する魅力的なエリアとして評価されています。

近年になり、昭和30年代に建築された建物やライフラインの老朽化等への対応が求められておりました。こうした地域の課題に対し、盛岡市としては、暫定的に商業地の一部について建物の改築等を認めながら、将来的には史跡として整備することを目指すこととして、平成22年に整備計画案を公表したところ、提示した計画案の白紙撤回を求める署名運動がなされました。

その後市としては、櫻山参道地区については

「史跡・都市公園・商業機能が共存するまちづくりを目指す」とし、参道地区内で土地や建物を所有されている方、店舗を経営されている方々と「櫻山神社参道地区を考える会」を通じて、今後のまちづくりをどのように進めていくかについて、地区の現状認識と課題を明らかにすることから話し合いを始めているところがあります。

櫻山参道地区内の建物は、建築から50年以上経過しており、このまま現状を維持していくことは困難であると認識しておりますので、一定の基準を設けた上での建物の改築等を検討する必要がありますと考えております。

盛岡城跡公園につきましては、平成24年度に策定した「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、石垣修復や老朽化した公園施設の再整備とともに、城郭建物をはじめとする遺構の復元整備等お城としての歴史的景観、歴史的な公園としての文化的景観を向上させ、盛岡城を盛岡の象徴的なランドマークとして再生させるための整備を推進して参ります。

これら事業につきましては、皆様の御理解と御協力のもと、推進して参りたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

例会報告

第19回例会
平成25年11月15日(金)

- 於 川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司会 平井 滋会長
- ・ゲスト 三浦陽一様(盛岡市都市整備部公園みどり課文化財主査)
- ・ソング それでこそロータリー
- ・会長報告 平井 滋会長
- ・結婚祝 道脇清文君。
- ・幹事報告 平野佳則幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡西R.C.=11月21日(木)は、滝ノ沢R.C.との合同例会のため

- 19:00~[ラ・ドルチェ・ヴィータ]。11月28日(木)は、IM出席に伴い11月17日にIM開催前に例会変更。
- 盛岡東R.C.=11月18日(月)は通常夜例会18:30~[すべいん倶楽部]会場変更。
- 盛岡滝ノ沢R.C.=11月21日(木)は、盛岡西R.C.との合同例会のため19:00~[ラ・ドルチェ・ヴィータ]。

【ニコニコBOX】

- ◆坂本広行君…三浦さん本日は卓話ありがとうございました。公務お忙しいところ業務で桜山参道地区のお話、あらためて理解いたしました。益々のご活躍をお祈りいたします。

- ◆福井誠司君(プログラム委員長)…三浦さん本日はお忙しい中時間をとって卓話をしていただきありがとうございます。土地所有の変遷等改めて知った事も多く参考になりました。これからも桜山地区を愛し、微力ながら盛岡のために仕事をしていこうと思います。本当にありがとうございます。

- メイクアップ
盛岡西R.C.=中山・若松君。盛岡南R.C.=吉田(幸)君。盛岡滝ノ沢R.C.=金子・川村(登)君。クラブ委員会=千葉・勝部・長野・白石君。

出席報告 会員数 /67名 出席数 /45名 出席率 /67.16% 前々回修正出席率 /84.13%

プログラムの
お知らせ

・11月22日(金) 会員卓話 平井 滋会員
「見上げてごらん夜の星を」

- 本号編集担当 / 大見山俊雄
- 次号編集担当 / 高柳 一郎